



## 収束が終息になるまで 今まで通りの 感染症対策で よい年末年始を!



2021年も残すところ後1ヶ月足らずとなりました。今年もコロナに明けコロナで暮れる一年でした。第5波が収まった後、日本では感染者が激減しましたが、世界的に見るとブレイクスルー感染や新たな変異種の発生など、その脅威は衰えてはいません。三度目のワクチン接種や治療薬の開発で、重症化のリスクはかなり軽減されるとはいえ、やはり肝心なのは自己予防対策。今年の冬はインフルエンザの流行もささやかれています。特にいつもより行動範囲が広がる年末年始、感染症対策をしっかりと取りながら、ゆったり過ごして頂ければと思っています。

さて今回の社内報では、今年最後ということで年末に行う定例行事やその名前の由来についてまとめてみました。家族で過ごす時間が長くなる年末、団欒の話題の一つになれば幸いです。

## 年末の定例行事の由来あれこれ



**\*大掃除\*** 大掃除の由来は、平安時代には行われていた煤払い(すすはらい)という行事といわれています。宮中行事として実際に汚れを落としてきれいにするとともに、信仰的な意味合いの強いものだったようです。中国では、紀元前から「掃除(そうじ)」という言葉が使われていたそうです。現代では年末にするのではなく、旧暦のお正月である「春節(しゅんせつ)」に合わせて大掃除が行われています。大掃除のもととなる煤払いは、「煤掃き(すすはき)」「正月迎え」「事始め(ことはじめ)」などといわれ、大掃除には「一年のすす(汚れ)を払って、新しい年の神様をお迎えする」という意味があるようです。



**\*お歳暮\*** 歳暮(せいぼ、さいぼ)とは本来、「歳の暮(年の暮)」という意味です。日本には古くから、お世話になった人などを暮れに訪れて贈り物などをする歳暮周り(せいぼまわり)の慣習がありますが、この際の贈り物を歳暮と呼ぶようになりました。

**\*大晦日\*** 「おおみそか」の「みそ」は「三十」のことで、「みそか」は「30日」の意味です。現代では12月31日のことを大晦日といいますが、かつては「大つごもり」と呼んでいました。ちなみに「つごもり」とは月が隠れる意味で月末を指し、一年の最後ということで「大つごもり」というそうです。



**\*年越しそば\*** 大晦日に「年越しそば」を食べる習慣は江戸時代に定着したと言われていています。その起源には諸説あるようですが、その中でも次の5つが有力なものようです。

<p><b>延命・長寿祈願説</b>                  そばは細く長いので「長寿延命」「家運長命」などの縁起を担いだという説</p>	<p><b>金運縁起物説</b>                  金銀細工師が散らばった金粉を集めるのにそば粉を使ったところから「金運を集める」に繋がった説</p>	<p><b>苦勞・借金切り捨て説</b>                  そばは切れやすいことから、九年の苦勞や災厄を断ち切るという説</p>	<p><b>健康祈願説</b>                  そばは風雨にされられても、日光を浴びると元気になることから健康の縁起を担ぐのに最適とした説</p>	<p><b>世直しそば説</b>                  鎌倉時代に博多のお寺が、年をこせない町人に「世直しそば」として、そば餅を振る舞ったところ、皆の運が向いたという説</p>
--	---	--	--	--

### \*除夜の鐘\*

まず「除夜(じょや)」とは、古い年を除く夜という意味で、12月31日の大みそかの夜のこと。この夜に鐘をつくので、除夜の鐘ということになります。お寺の釣鐘(つりがね)を撞木(しゅもく)でついて鳴らします。この鐘は「梵鐘(ぼんしょう)」と呼ばれ、鐘は108回つかれることが多いです。『つき方』は、108回を年内・年またぎ・新年につくなど、地域やお寺によって様々なようです。108の数の由来については、煩惱説、一年間説、四苦八苦説などがあります。



## 編集後記

### 「大晦日 定めなき世の 定め哉(かな)」

これは江戸時代の作家である井原西鶴の句で、晩年の浮世草子である『世間胸算用』につながる句です。『世間胸算用』とは、大晦日を舞台に借金を取り立てる側と、払わずに逃げ切りたい借り手との間の、悲喜こもごものお話です。江戸の人々にとって、大晦日は一年の決算日。掛け買いの代金を支払う決まり(定め)がある重要な日でした。「定めのない無常な世の中で、大晦日だけは定めがあることだ」という実感を、西鶴は詠っているようです。大晦日は、定めのない時の流れの中の大きな一区切り。ゆっくり今年を振り返り、新しい一年に思いを馳せたいものです。

憂うる者は  
 富貴にして憂い、  
 楽しむ者は  
 貧にして楽しむ

